

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

’08アプリコットF3A・F5A(TCFTCF4331AL・4351AL)

’09アプリコットF3A・F5A(TCF4431EAL・4451EAL)

’11アプリコットF3A・F5A(TCF4531EAL・4551EAL)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正規品	(タイプ1) 1	(タイプ2) 2	正規品	(タイプ1) 1	(タイプ2) 2
(タイプ3) 3	(タイプ4) 4	(タイプ5) 5	(タイプ3) 3	(タイプ4) 4	(タイプ5) 5


3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

作業の前に…
 特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。

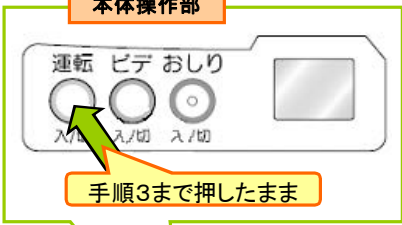


ボタンを押したままウォシュレット本体を手前に引く
 本体取りはずしボタン

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。


手順 1
 本体操作部の **運転** 入/切 を手順3まで押し続ける。
 10秒後に本体の全表示ランプが5秒間点灯します。

本体操作部



手順3まで押したまま

ランプ表示部




この間5秒

＜下図は例です＞
 ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください

手順 2
運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、**すぐに** **ビデ** 入/切 を5秒以上押す。
 5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

本体操作部



※途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。


手順 3
運転 入/切 を押したまま、**おしり** 入/切 スイッチを押す。
おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2…
 特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

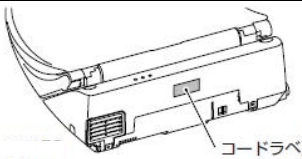
●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定	運転	便座	節電	設定	運転	便座	節電
標準	●	●	●	特5	×	●	×
特1	×	●	●	特6	●	×	×
特2	●	×	●	特7	●	●	▲
特3	×	×	●	特8	×	●	▲
特4	●	●	×	特9	●	▲	×

本体操作部

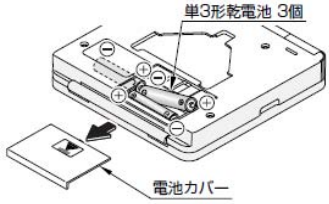
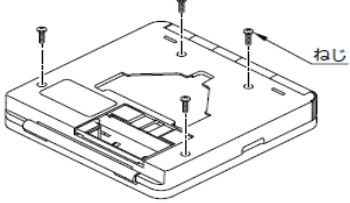
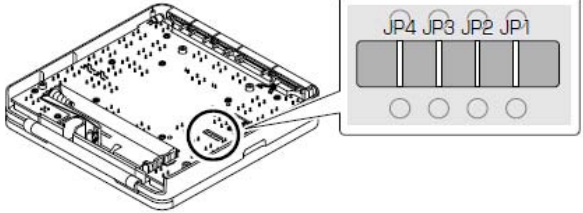
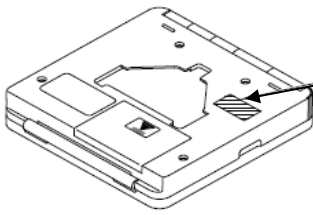


手順 4
 ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。
運転 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになります。

手順 5

 ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。
 コードラベル

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池をはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p>ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																							
2	 <p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではなく、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="199 1108 954 1299"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> 																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)